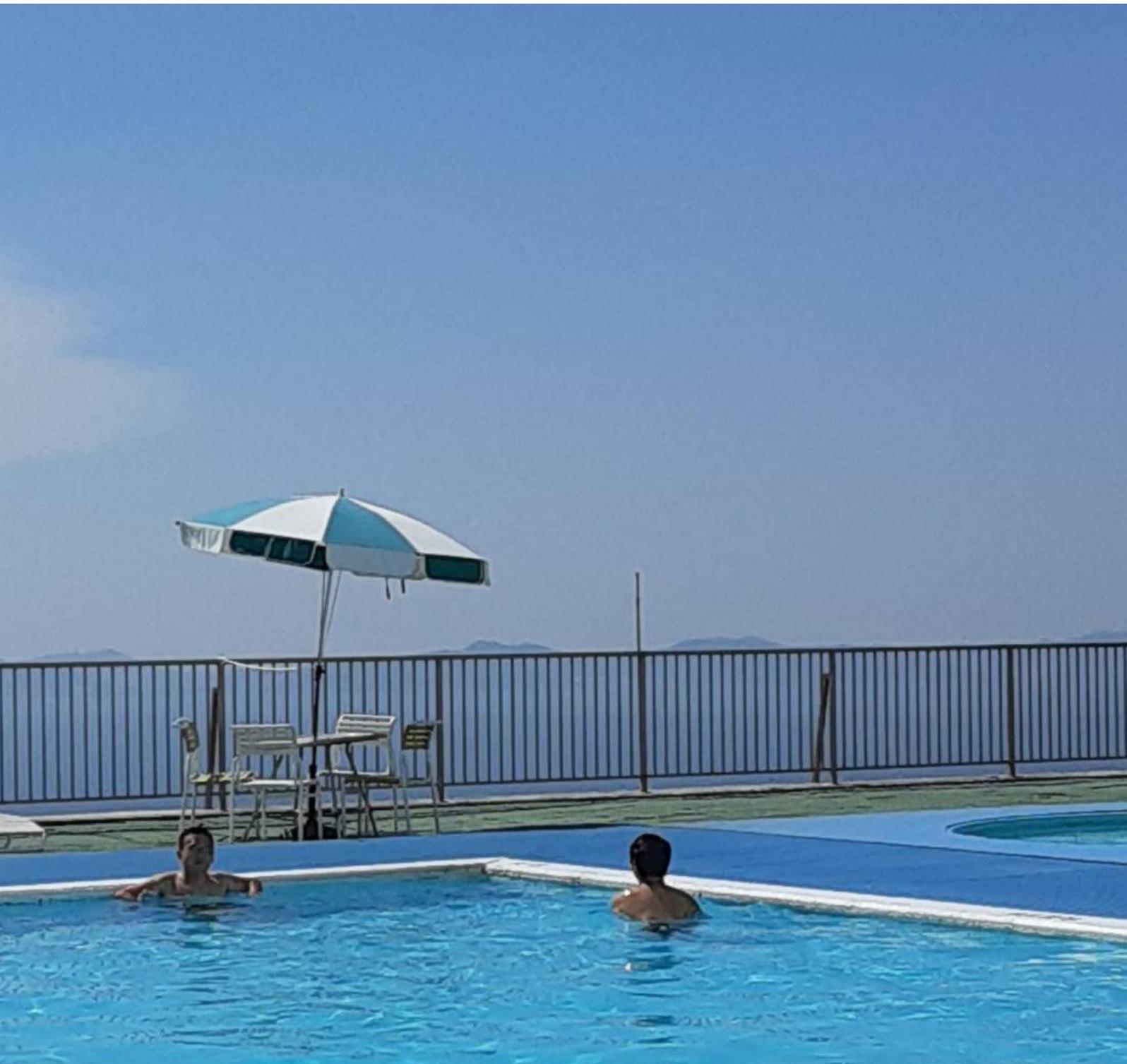




東海アカシア・豊葦会 かわら版

2021年 夏版



<目次>

P2. ご挨拶

P3. 事務局からのお願い

P4. 特別寄稿:吉本幹彦名誉会長を偲んで

P6. 皆さまからのお便り

P7. TOKYO2020 フィールドキャストまでの道のり

P8. 投稿:コロナが明けたら・・・

【発刊にあたって】

昨夏のビール会、冬の総会・懇談会に引き続き、今年の夏のビール会もまだ開催は難しいと判断し、やむなく中止の判断をさせていただきました。

皆さまと直接お会いできるのは、今年度の総会・懇談会まで我慢したいと思います。

本刊ではまず、この春ご逝去された吉本さんを偲び、沖前会長に寄稿いただきました。東海アカシア・豊葦会に多大な貢献をいただいた故人に敬意を表します。

皆さまからのお便りとともに、この夏最大のイベント、TOKYO2020の開催に携わった田中副会長に、ホットな体験談をいただきました。いろいろな意見はありましたが、多くの人が舞台裏で汗を流し、感動を届けてくれたんだなあと、素直に感謝したいと思います。

ワクチン接種が進み、日常が戻ってくる日は確実に近づいています。「コロナが明けたら・・・」何をしようか、皆さん心待ちにされていることでしょう。笑顔で集えるその日を心待ちにしています！

東海アカシア会会長
荒田治彦(72回)

楨本会長ご挨拶

こんにちは。昨年7月から全国アカシア会会長をさせて頂いております楨本です。この夏は、無観客で行われた東京オリンピックではごさいましたが、各競技選手がこの数年、女子ソフトボールに至っては13年間、腕を磨き、技を競ってきた成果をいかに発揮し、金メダル27個を含む58個のメダルを獲得という素晴らしい快挙をなし遂げました。一方では残念ながら、敗れ去った選手も多々いましたが、ここに至るまでの努力を思い、心からの惜しめない拍手をテレビの画面にかじりつき、送り続けました。

さて、恒例の東海アカシア会のビール会も再拡大のコロナの前に中止せざるを得ず、「集う」ことが難しい状況であります。このような中、荒田会長をはじめとして会員の皆様による「かわら版」での情報共有、素晴らしいお取組にエールをお送りしたいと思います。コロナが収束を迎え、皆様と共に「集える」日を楽しみにしております。貴会の皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたしております。



全国アカシア会会長
楨本良二(69回)

【事務局からのお願い】

Eメールアドレス連絡 or 公式LINEアカウント登録 をお願いします！

東海アカシア会では、年会費を集めず、年2回の総会・懇親会に参加される方に実費をご負担いただく形で活動を行っております。

しかし、開催案内を送信する通信費（往復はがき代）がかかり、総会・懇親会に使える費用を圧迫しているのが現状です。

また、この2年間に臨時発行しました「かわら版」につきましても、先輩方からの寄付による蓄えがあったため実施できましたが、経費の大半は紙面の発送に費やしました。

今後、円滑な連絡手段確保のため、可能な限りEメールや公式LINEアカウントを活用させていただきたく、以下のどちらかへのご協力を、改めてお願いいたします。

総会・懇親会のご出席にかかわらず、是非登録ください！

①Eメールアドレスのご連絡

以下の事務局メールに、お名前・卒業回を添えてご連絡ください。
(ご連絡いただいたメールアドレスは、事務局で適切に管理します)

東海アカシア会 事務局Eメールアドレス
acaciatokai@gmail.com

②東海アカシア会公式LINEアカウントへのご登録

LINEアカウントをお持ちの方は、以下のQRコードを読み取って、友だち申請ください。



※友だちに追加していただくと、東海アカシア会の公式LINEアカウントから、左のメッセージが届きますので、お名前をメッセージで返信ください。
お名前は、「150回附属太郎」のように記載していただけると助かります。
(事務局にてお名前を修正させていただきます)

特別寄稿：吉本幹彦名誉会長を偲んで

4月27日、元監査役の中村博之さん(43回)から、元会長の吉本幹彦さん(41回)が4月24日に亡くなったと電話を頂きました。吉本さんと同期の新井さんから中村さんに連絡があったということでした。昨年の総会でお元気だっただけに、大変驚きました。

役員の方々に連絡の後、5月2日13時半から岐阜市のセレモニーホール野々村で行われたご遺骨葬・告別式に、前監査役の坂本利彦さん(55回)と参列してきました。

喪主のご令室様、長女様、長男の方にお悔やみと、東海アカシア会・豊葦会の重鎮として長年にわたり大変お世話になりましたとご挨拶しました。長女様から「父は東海アカシア会を一番気にしていました、ありがとうございました」とのお礼があり、式場内には総会の集合写真(中村さん撮影)も飾ってありました。参列して良かったねと坂本さんと語り合いました。

参列者は20人程度で、コロナ禍でゆったりしたレイアウトになっており、梶事務局長が手配してくれた東海アカシア会一同からの弔電が読まれました。

昨年はずっと元気だったのに、11月に圧迫骨折されて長男宅に同居し、今年2月に誤嚥性肺炎になり、4月22日に急変、24日に88歳で亡くなったということで、昨年2月の総会をやっておいて良かったな、9月のビール会ができなくて残念だったなとつくづく思いました。

吉本さんは、2001年2月の総会で、東海アカシア会・豊葦会の会長を、2代目会長から引き継がれましたが、その時の紹介では、「吉本さんは自治省のエリート官僚として末は総理・大臣かとも囁かれた人物で、岐阜土木部都市整備局長、岐阜県博物館長など大いに活躍された」ということでした。落ち着いた聡明な官僚というイメージよりも、我々には穏やかでユーモアのある頼れる先輩でしたが、長年の功績から受勲もされています。

吉本さんは、1985年に豊川の「かに料理の三松館(さんしょうかん)」での総会時に初めて参加されたと記憶していますが、当時は名古屋・岡崎・豊橋で持ち回りで総会を開催していたので、初代会長から吉本さんに「今度は一度岐阜で企画せーや」と言われ、1987年に岐阜駅前の丸川荘で開催されたことも思い出されます。

吉本さんは、2月の総会も9月のビール会もこれまでほぼ皆勤賞で、いつも乾杯の音頭を取って頂き、校歌も声高らかに歌って頂きました。

昨年の総会で、吉本さんが原爆時の日記の話を少しされました。

昨年NHK広島放送局が企画した「もし75年前にSNSがあったら？“1945ひろしまタイムライン”」は、ツイッターを使い、広島に原子爆弾が投下された75年前と現代を結びつける新たな手法で、原爆や戦争を身近に感じさせたと言われました。

「ひろしまタイムライン」のツイートは虚構（フィクション）であり、主人公の一人“シュン”のツイートも、プロフィールに「75年前の中学1年生・新井俊一郎さんの日記をもとに、今の広島の10代が想像をふくらませ、“シュン”として伝えます。」と説明されています。これは1945年4月4日の入学から14カ月間の学年の動きについて、吉本さんや新井さんたち41回生4人が克明な日記を残していたのが基になったのだった、ということをおっしゃっていたのです。

几帳面な性格は子供の時からだったのですね。

昨年ビール会ができておれば、その企画に対する評判などを聞かせて頂けたのかなと思います。

吉本さん、長年にわたりお世話になり、ありがとうございました。
ご冥福をお祈り申し上げます

沖 信一さん(55回) 記

皆さまからのお便り

※前回かわら版発行後から、7月までにいただいたお便りを掲載します。

宮川隆吉さん(57回)

私は緊急事態宣言のおかげで、テニスコートが閉鎖になり、また県外外出を自粛要請で、スキーも出来ずじまいです。

その分、ウォーキングを増やして、運動不足を補ってます。

なお、テニスコートは昨日(2/20)解禁となり昨日今日と久々にテニスが出来ました。

坂本利彦さん(55回)

元気に、仕事、プライベート生活を、つつがなく過ごしています。

恵美宣彦さん(63回)

近況だけ簡単に書かせていただきます。

現在(7月17日)は、新型コロナの入院患者さんもなくなりましたが、ワクチン接種とその副反応の対応に追われています。

一体いつになったら、このコロナ感染は落ち着くのかと思っていますが、東京の状況を見てもっと大きな波が襲ってくるように思い身構えています。

小栗千夏さん(82回)

なかなか活動に参加するのは難しい家庭事情がありますが、アカシア会報などのお便りはいつも楽しみ・励みにしております。

時流にあがらうことなく柔軟に対応しつつ、日々を過ごしてゆこうと思います。

黒田武儀さん(48回)

鎌倉から、21世紀にふさわしいライフスタイルを目指して、愛知の山の村に移り住んで25年目になりました。水道も引かず、下水道にも接続せず、100mの地下のかすかなクラックを流れる地下水を汲み上げて、水と真正面から向き合い、空気の汚染や食の安全を、暮らしの根本に据えながら、カゼひとつひかずに、元気に生きています。

ヒロシマのヒバクシャの生き残りのひとりとして、世界各地もそうですが、日本中に点在する原発など核施設の廃棄廃絶を目指して、車で飛び回っています。

今でもまだ、ここから青森県の下北半島まで、約1200kmを、ひとりでハンドルを握って走る健康な身体は、この山の村の暮らしの賜物と思っています。

いつも、たいていそうなのですが、アカシア会の当日は、ハンドルを握っているか、どこかの現場で、核廃絶のために駆けずり回っています。

一度も参加せず、最悪の同窓生ですが、国際NGOの議長の職責を果たしたい一心です。

和田崎直隆さん(103回)

ただいま愛知県職員として、設楽町にある新城設楽農林水産事務所で働いており、田舎生活を満喫しています。

富士谷盛興さん(65回)

小生ですが、名古屋に赴任して12年半経ちます。自宅は東京で、単身赴任です。

勤務先は、愛知学院大学歯学部です。

集会形式の催しには、学会等でなかなか都合がつかず一度も参加しておりません。

平にご容赦頂きたくお願い申し上げます。

竹中弘さん(67回)

この1年間ご多分に漏れず生活が激変し出張・旅行激減です。

在宅勤務もかなり慣れました。皆とワイワイやれるのが待ち遠しいですね。

TOKYO2020 フィールドキャストまでの道のり



田中副会長(72回)が、TOKYO2020のフィールドキャスト(大会ボランティア)として、選手村で活動されています。

TOKYO2020オリンピックは、2021年7月23日から8月8日まで、33競技・330種目が42の会場で実施され、200カ国以上、1万人以上の選手が参加し、選手村には、原則全選手が滞在しました。

コロナ禍で特別な経験となった今回のオリンピック。今回の寄稿は、フィールドキャストの活動が始まるまでの、長い道のりを紹介いただきます。

フィールドキャストへの応募は2018年9月。2019年3月に集合研修が実施され、2019年10月からE-learning(オンライン研修)が開始し、2020年3月に、フィールドキャストとしての採用が決定しました。

私の役割はNOC・NPC&リレーションシップで、活動場所は、選手村。具体的な活動内容は不明ながら、選手村でアスリートを支援するという幸運に胸を躍らせ、次は、役割別研修だと期待していたのもつかの間、新型コロナウイルスの蔓延で、2020年3月下旬にオリンピックの1年延期が決定されました。

その後、2021年になってもコロナ禍はおさまらず、オリンピック開催へ疑問の声が高まり、また、ボランティアへの風当たりも強くなる中、2月には森会長の女性蔑視発言で辞退者が続出。会長の発言とそれに続く対応は、コロナ禍で不安の中、なんとか大会を盛り上げようとしていたフィールドキャストに、参加目的を疑わせるものでした。その後も組織委員会の問題は続出し、その都度、情けなく、悲しい思いをしています。

私はなんとかモチベーションを維持し、活動を継続。大会まで2か月をきった5月末に、ユニフォームと、ボランティア活動に必要な身分証明カードを受領。ユニフォームにそでを通し、ようやくオリンピックが現実のものに思えてきました。

一方、コロナワクチン接種の目途がたたないことが最大の心配で、活動中は家族と離れてホテルに泊まるべきかと悩んでいましたが、6月15日に、選手村で働くボランティアへの優先接種が決まり、その後、ボランティア全体へ接種対象枠が広がりました。活動初日までに2回目の接種を終えられる日程を予約し、安心して活動をする体制が、ようやく整いました。(選手村での活動中は、PCR検査を毎日受けます。)

さて、いよいよ大詰め。活動開始2週間前に、担当選手団が南米のベネズエラに決定。公用語はスペイン語。英語で登録していた私には大変な驚き。期待より不安がいつばいな中、7月12日に、私の選手村での活動が始まりました。

実際、最初はことばが通じず、かなり落ち込みましたが、英語で話せるドクター、スペイン語堪能なベネズエラ担当の仲間に助けられ、選手団と良い関係を築くことができました。このチームに恵まれた幸運に感謝しています。

なお、フィールドキャストは、選手村内での写真撮影が禁止のため、選手村の様子をお見せできませんが、選手が数多くの動画をYouTubeにあげています。大人気のダイニング、200カ国の国旗がはためく国旗ロード、各国居住棟の飾りつけなどを是非探してみてください。

さて、私は、来週8月18日から、パラリンピック活動を開始します！

田中千晶さん(72回) 2021年8月15日 記



- 追記1) ベネズエラ選手団は、女子三段跳びで、Y. ロハスが世界新記録で金メダル。この記録は、新国立競技場で最初の世界記録となりました。その他、重量挙げで2つの銀メダル、BMXフリースタイルで銀メダルと、合計4つのメダルを獲得！これまでで最高の成績でした。
- 追記2) 写真は、各国の選手団と交換したピンバッジです。オリンピックでは、選手団同士がピンバッジを交換するのが文化なんだそうです。
- 縦紐上から:ベネズエラ、ベネズエラ、ケニア、ブラジル、キューバ、アメリカ
 - 横紐左から:サオトメ・プリンシペ、アゼルバイジャン、ニュージーランド、ヨルダン、モーリシャス

投稿：コロナが明けたら・・・

メールにて、コロナ禍が明けたら行きたいところ、やりたいことを募ったところ、以下寄稿いただきました。平穏な日常が待ち遠しいですね！

林滋さん(48回)【孫に高評価！】

私のお勧めは名古屋市千種区にある東山動植物園内の「ガーデンテラス東山レストラン」です。コロナが収束する前でもOKだと思います。動物園や植物園を散策する前でも後でも立ち寄ってランチを楽しむことができます。ただし動植物園の休園日(原則月曜日)はお休みです。そのほかにも併設されている結婚式場で結婚式が行なわれているときは貸し切りになります。事前に電話で予約しておくことをお勧めします。(TEL052-789-1511)

以前孫娘が大学受験に来た時に同行したら帰宅して父親(私の息子)に「おじいちゃんに素敵なおランチを御馳走になった」と言っていたそうです。孫の評価を上げたい向きには是非どうぞ。



佐藤典子さん(78回)【オススメ！豊川のバラ】

愛知県豊川市に住むようになって20年以上になります。こちらに来て、嬉しい驚きだったのが、「バラ(=薔薇)」です。「バラ」というと、「日常的には縁のない高級な花」というイメージだったのですが、近くのスーパーマーケットで、普通に、綺麗なバラが何本か入った花束が100円代くらい、という手軽な金額で売っていて驚きました。

豊川市は、バラの栽培に気候があっているようで、日本有数のバラの産地です。このため、近くのスーパーや農協では、ほぼ一年中、素敵なおバラの花束が、お手頃価格で売っています。一輪挿しでもハツとするほど綺麗ですし、1,000円も出せば、写真のような結構、豪華な花束ができます。おかげで、家や職場に生花を飾るといった楽しさを知りました。

豊川市内には、バラ農園がたくさんありますが、いくつかの農園では、自分でバラを選んで、花束やアレンジメントにして購入できます(産地直売)。

スーパーで買うもよし、バラ農園で買うもよし、豊川のバラ、皆様も是非、いかがでしょうか。

國司和浩さん(82回)【東海アカシア自転車同好会 オフ走行】

休日のちょっとした空き時間、3時間程度のサイクリングを楽しんでいます。本格的な夏が来る前に、自宅のみよし市から、長久手の道の駅(あぐりん村)までの約10km、服部さんご夫婦をお誘いして行ってきました。目的地のご褒美に幸せを感じつつ、お昼には自宅に戻って、ぽかぽか陽気の中で心地良い疲れの昼寝。サイクリングの機会がありましたら、お声かけいただけると嬉しいです。

コロナの感染状況から、春のサイクリングは中止となりました。再び同好会として計画を致しますので、ご参加お待ちしております。



東海アカシア会・豊葦会かわら版 2021年夏版

東海アカシア会事務局 2021年8月発行

連絡先Eメール: acaciatokai@gmail.com

皆さまの近況やご活躍の様子を、是非、事務局までお知らせください！